

第6節 障害者スポーツ文化センター横浜ラポール運営事業

市内唯一である障害者のスポーツ・文化・レクリエーション振興の中核拠点施設として、地域や利用者の様々な状況に即した事業を行いました。運営の基本理念を「リハビリテーションの向上」、「豊かな人生への支援」、「共生社会実現への取り組み」と定め、リハビリテーション・スポーツを核とした各種プログラムの展開、多様な地域資源（横浜市体育協会、各種競技団体等）との連携に基づいた市域での事業を推進しました。

なお、今年度は開港 150 周年記念障害者スポーツ・文化事業として、障害者のヨット活動をはじめ様々なスポーツ及び文化イベント等へ積極的に協力しました。

今年度の開館日数は 345 日（前年度 345 日）であり、施設利用者数は延べ 422,166 人（前年度延べ 440,599 人）でした。

横浜市との協約事項における今年度目標値については、障害者等利用者数は 277,500 人のところ 285,832 人と目標値を達成し、また地域支援事業実施回数は 220 回のところ 258 回と目標値を大きく超えました。これは、前年度と同様に開港 150 周年事業の関係で地域における事業が増加した結果です。

また、利用者満足度調査を実施して利用者へのサービス向上につなげるとともに、施設利用時間の拡大に関するアンケート調査も行いました。

1 施設運営事業

障害者等のグループ（団体）又は個人による自主的なスポーツ・文化・レクリエーション活動を支援するため、各種のスポーツ・文化施設の貸出を行いました。

今年度も引き続き、各スポーツ施設において効率的で安全な運動の実施や、教室等の案内をその場で行うワンポイントアドバイスの充実に努めました。これにより、利用者のニーズを的確に捉えつつ、適切なプログラムへと速やかに導入することが可能となっています。

また、利用促進策として、市内学校へのダイレクトメールの発送を試みました。

広報については、広報紙やインターネット等を通して、ラポールの事業を紹介し、障害者の社会参加の促進を図りました。

※全体の利用状況については、後述 7(5)を参照ください。

2 スポーツ振興事業

(1) 運営方針

初心者に重点を置く「スポーツ人口の拡大」、スポーツをとおした障害者の「自立支援」及びラポールで培ったノウハウの「地域還元」に基づくスポーツ環境の向上をコンセプトに、各事業を実施しました。

具体的には、

- ア リハビリテーション・スポーツを核とした個別指導や各種教室の開催
- イ 障害者のスポーツを支える指導者やボランティアなどの人材育成の強化
- ウ 各種地域資源との連携強化によるスポーツ環境の拡大等を中心に実施しました。

特に今年度は、高次脳機能障害等により施設利用に様々な困難のある対象者への対応を強化することを目的に、月1回の定例情報交換会議を開催しました。この会議ではリハセンターのケースワーカーの協力を得ることで、職員の高次脳機能障害に対する理解を深めるとともに、対象者へのきめ細かいサービスにつなげました。

(2) 事業内容

ア スポーツ初期相談

新たにラポールを利用する人に対し、各種教室や施設の紹介等の相談を行いました。また、必要に応じた主治医や担当セラピストへの照会などを通して、利用者が適切なプログラムへ速やかに参加できるよう、第一次のスクリーニング機能を果たしました。

イ リハビリテーション・スポーツ

医学的リハビリテーションと社会リハビリテーションの中間に位置するリハビリテーション・スポーツをラポールにおけるスポーツ指導の中核と位置づけ、様々な障害者への指導を行いました。

リハセンターとの連携により、重度の障害者に対するプログラムやスポーツ用器具等の開発を進め、対象者の拡大を図るとともに、リハセンターや横浜市脳血管医療センター等と連携しながら、体力測定を実施し、その成果を日常の指導場面に活かしました。数年来の課題となっているラポール利用者の定量的な QOL 評価については、新たな評価表（標準化されているものをラポール独自の視点で一部修正）を用いて行いました。これまでに使用してきた評価表と比べると比較的適応が高かったため、平成 22 年度も同一の評価表を用いた評価を行い、その結果をもってラポール版の QOL 評価指標とすることを検討します。

また、日常的にスポーツ相談・健康相談・個別指導等を実施しました。リハビリテーション・スポーツ教室として、成人片麻痺者、肢体不自由児、知的障害児、高次脳機能障害者の各クラスを開催しました。

<リハビリテーション・スポーツの実績>

プログラム	内 容	回数	参加者数
各種相談	スポーツ相談や健康相談等	607回	607人
リハ・スポーツ教室（成人）	成人片麻痺者を対象とする教室	30回	351人
リハ・スポーツ教室（学齢）	学齢発達障害児を対象とする教室	15回	63人
リハ・スポーツ教室（高次脳）	高次脳機能障害者を対象とする教室やフォローアップ	71回	1,597人
リハ・スポーツ教室（フォローアップ）	教室参加後にフォローの必要性が生じたケースへの対応	21回	167人
個別指導	障害に応じたマンツーマン指導	815回	815人
学齢障害児支援	学齢障害児のスポーツ体験 ¹⁾	10回	87人
体力診断（体力測定）	リハ・スポ教室（成人）の参加者を主な対象とする体力測定	2回	165人
体力診断（セミナー）『ゆるリハ』	体力測定参加者を主な対象者にリラクゼーションの体験 ²⁾ を中心としたイベント（10月28日）	1回	400人
合 計（前年度）		4,252人（4,403人）	

- 1) 体験したスポーツ種目は、知的障害児のフライングディスク、ダンス及び肢体不自由児の車いすバスケットボール
- 2) アロマ&ストレッチやマッサージ

ウ スポーツ・レクリエーション

障害者がスポーツ・レクリエーション活動に、“いつでも”“どこでも”自由に参加できるように、障害者にとって使いやすいスポーツ施設の運営を行うとともに身近な施設においてもスポーツ・レクリエーション活動ができるような環境づくりを推進しました。

スポーツ教室では、リハビリテーション・スポーツとの有機的な連携のもと、生涯スポーツ活動の定着に向けた指導を行いました。また、上級者向けのプログラムを実施し、全国障害者スポーツ大会の予選を兼ねる「ハマピック」の充実を図りました。

さらに、障害者のスポーツの普及を進める上で、実践的な指導者等の人材育成研修を実施し、生涯スポーツ活動を今後開始していくグループに対しては、自立促進に向けた支援を行いました。

<スポーツ・レクリエーション教室の実績>

プログラム	内 容	回数	参加者数
卓球教室（初心者）	卓球の初心者を対象とする教室	26回	189人
卓球教室（初級者）	卓球の初級者を対象とする教室	26回	217人
卓球教室（フォローアップ）	教室参加後にフォローの必要性が生じたケースへの対応	9回	66人

卓球教室（中級者） ¹⁾	卓球の中級者を対象とする教室	24回	573人
水泳教室（上級者） ¹⁾	水泳の上級者を対象とする教室	19回	264人
水泳教室（はじめてプール） ²⁾	水泳の初心者を対象とする教室	19回	118人
水泳教室（らくらくクロール） ²⁾	水泳の初級者で片麻痺以外の方を対象とする教室	40回	1,883人
水泳教室（選手クラス）	水泳の競技選手を対象とする教室	18回	347人
短期水泳教室	学齢の肢体障害児を主な対象として夏季に行った短期の水泳教室	5回	21人
フライデーナイト スイミングスクール	一般健常者も含め、金曜日の夜間に実施した水泳教室	20回	68人
ジュニアダンス教室	発達障害の学齢女子を対象とするダンス教室	27回	414人
横浜F・マリノス futuro	マリノスと協働で開催している知的障害者のサッカー教室	47回	1,498人
アウトドアスポーツ教室	ヨットの体験乗艇を行う教室	7回	105人
合 計（前年度）		5,763人（4,772人） ³⁾	

- 1)前年度まで、卓球教室（中・上級者）として一本化していたものを、21年度は卓球教室（中級者）と卓球教室（上級者）に分けて、それぞれ実施しました。
- 2)前年度まで、水泳教室（初心者）として実施していたものを水泳教室（はじめてプール）に改め、また水泳教室（初級者）及び（中級者）をまとめて水泳教室（らくらくクロール）として実施しました。
- 3)スポーツ・レクリエーション教室の実績が前年度よりも約1,000人増加したのは、今年度新たに実施した卓球教室（中級者）と各々の教室への参加者が少しずつ増加したためです。

<スポーツ・レクリエーションの時間の実績>

プログラム	内 容	回数	参加者数
グラウンドゴルフ広場	グラウンドゴルフを楽しむ時間	117回	1,455人
フライングディスクの時間	フライングディスクを楽しむ時間	11回	169人
ターゲットスポーツの時間	ビームライフルやダーツ、吹き矢等のスポーツを楽しむ時間	18回	80人
オリジナルスポーツの時間	ラポールで独自に開発したビンゴボール等のスポーツを楽しむ時間	50回	949人
卓球の時間	卓球を楽しむ時間	23回	570人
ボッチャの時間	ボッチャを楽しむ時間	18回	172人
合 計（前年度）		3,395人（3,717人）	

エ スポーツ大会・交流イベント

障害者のスポーツの普及振興及び競技力向上を目的に「ハマピック」を行いました。「ハマピック」の結果に基づいて全国障害者スポーツ大会への派遣選手を選考し、10月に新潟県で行われた本大会へ選手を派遣しました。なお、代表となった選手には本大会までの間、強化練習を実施し、競技力の向上を図りました。

また、知的障害者のサッカーの普及を図るため、横浜F・マリノスとの共催事業としてサッカー教室を開催しました。

スポーツフェスタとして「水泳の日」「ボッチャの日」「ボウリングの日」を開催し、健常者を含めた各種目の愛好者間の交流を進めたほか、競技力の向上を目的に「オレンジリーグ（卓球）」「ボッチャリーグ」「フライングディスク記録会」を実施しました。さらに「ラポールの祭典」「障害者スポーツ体験」等の開催を通じて、市民が広く障害者のスポーツを理解できる機会の促進を図りました。

<第14回ハマピックの実績>

プログラム ¹⁾	内 容 ²⁾	回数	参加者数
水泳	身体障害及び知的障害を対象とした水泳競技（4月26日）	1回	322人
卓球	身体障害及び知的障害を対象とした卓球競技（4月26日）	1回	45人
フライングディスク	身体障害及び知的障害を対象としたフライングディスク競技（4月29日）	1回	89人
陸上	身体障害及び知的障害を対象とした陸上競技（5月8日、三ツ沢公園陸上競技場）	1回	173人
サウンドテーブルテニス	視覚障害を対象としたサウンドテーブルテニス競技（4月19日）	1回	12人
アーチェリー	身体障害を対象としたアーチェリー競技（4月19日）	1回	4人
ボウリング	知的障害を対象としたボウリング競技（4月19日）	1回	65人
バスケットボール	知的障害を対象としたバスケットボール競技（7月5日及び8月2日）	2回	198人
ソフトボール	知的障害を対象としたソフトボール競技（11月8日、岸根公園野球場）	1回	30人
バレーボール	知的障害を対象としたバレーボール競技（11月29日）	1回	114人
サッカー	知的障害を対象としたサッカー競技（12月13日、しんよこフットボールパーク）	1回	169人
合 計（前年度）		1,221人（1,213人） ³⁾	

1) プログラム欄のうち、『水泳』『卓球』『フライングディスク』『陸上』『サウンドテーブルテニス』『アーチェリー』『ボウリング』は個人競技、『バスケットボール』『ソフト

ボール』『バレーボール』『サッカー』は団体競技となります。

- 2) 内容欄で、特に記載の無いものはラポールのスポーツ施設における実施です。
- 3) 参加者数については、原則としてエントリー時の人数としました。

<スポーツ・フェスタの実績>

プログラム	内 容	回数	参加者数
水泳の日	どなたでも参加が可能な水泳の記録会(7月5日)	1回	457人
ボウリングの日	障害のある方と介護者、家族を対象とした記録会(9月6日及び1月31日)	2回	101人
ボッチャの日	どなたでも参加が可能なボッチャの競技会(2月28日)	1回	151人
合 計 (前年度)			709人 (534人)

<各種リーグ戦や記録会の実績>

プログラム	内 容	回数	参加者数
卓球オレンジリーグ ¹⁾	卓球やサウンドテーブルテニスの競技力向上を目的としたリーグ戦	11回	431人
ボッチャリーグ	ボッチャの競技力向上を目的とした競技会	10回	272人
フライングディスク記録会	フライングディスクの競技力向上を目的とした記録会	10回	116人
ボウリング記録会	ボウリングの競技力向上を目的とした記録会	6回	158人
全国大会強化練習	横浜市代表選手を対象に競技力の向上を図る練習会	42回	304人
合 計 (前年度)			1,281人 (1,303人)

- 1) 卓球オレンジリーグには、インターリーグ、トップリーグ、サウンドテーブルテニスリーグを含みます。

<各種研修の実績>

プログラム	内 容	回数	参加者数
障害者スポーツ・ボランティア養成入門講座	原則 15 歳以上、横浜市に在住のボランティア活動希望者を対象とした研修会 (4月5日及び9月27日)	2回	32人
初級障害者スポーツ指導員養成講座	原則 18 歳以上、横浜市に在住のスポーツ・ボランティア養成入門講座受講者かスポーツ・レクリエーションの指導を行っている方を対象とした研修会 (1月16日、23日、24日)	3回	60人

フォローアップ研修会	横浜市に在住のスポーツ・ボランティア養成入門講座受講者か障害者スポーツ指導員の方を対象とする研修会(3月14日の午前2回・午後1回)	3回	108人
障害者スポーツ体験研修会	横浜市内の学校を中心に小中学生や教職員へ障害者スポーツの理解を深める体験研修会 ¹⁾	22回	3,559人
合 計 (前年度)		3,759人 (4,818人)	

1) ラポールのスポーツ施設で行う『受入型』と、ラポール職員が学校等に出向いて行う『出張型』があり、車いすバスケットボールが特に人気の高い種目です。

<第9回全国障害者スポーツ大会の実績>

期 間：平成21年10月8～13日

派遣人数：選手51人・役員37人の合計88人

成 績：金=30個、銀=14個、銅=10個(大会新記録16)

金メダル獲得ランキング：全国第4位 獲得率：全国第5位

オ 地域支援

今年度の地域支援は、全体で258回(横浜市との協約目標値は220回)となりました。今年度の特徴は、鎌倉市や南足柄市等、市外からの指導依頼があったことですが、これはラポールの地域支援が広く認知されてきた結果と思われます。

全体の実施内容は、これまでの内容に準じており、グラウンドゴルフやボッチャ、ラポールが独自に開発したオリジナルスポーツ等の教室開催や、自主活動グループへの支援が中心です。

また、地域支援の一つの核となっている中途障害者地域活動センターでは、近年高次脳機能障害者の参加が非常に多くなってきているため、本事業団の高次脳機能障害プロジェクトチームとの連携を強化しながら対応を進めました。

なお、今年度は開港150周年関連の各種イベントで、関連機関と積極的に連携したプログラムを実施しました。

<地域支援の実績>

プログラム	内 容	回数	参加者数
スポーツ教室	原則として地域の障害者を対象としたスポーツ教室	33回	519人
フォローアップ	ラポールのこれまでの取り組みにより、地域で自主的なスポーツ活動を開始したサークル等に対する支援	78回	1,402人
研修	地域のボランティア等を対象とした研修	3回	61人
その他	原則として地域の障害者を対象とした出張スポーツ指導や、地域間交流スポーツ大会等の開催	120回	2,277人

開港 150 周年事業関連	開港 150 周年記念事業と関連した各種プログラム	24 回	709 人
合 計 (前年度)		4,968 人 (5,538 人)	

カ 新しい取り組み

スポーツ・レクリエーション教室の中に、卓球の「中級者」クラスを新設しました。前年度までは中級者と上級者を合わせて「中・上級者」としていましたが、競技力の向上を主な目的とする上級者と、必ずしも競技にはこだわらない中級者が共存する教室の限界が見えてきたため、「中級者」と「上級者」に分けて実施したものです。

結果的には「中級者」クラスへ多くの方が参加され、また「上級者」クラスは競技力向上に特化したプログラムを進めることが出来たので、大変良い試みだったといえます。そのため、次年度以降も継続的に「中級者」クラスを設ける予定です。

今年度の「旅リハ」は、予定していた「沖縄ツアー」を新型インフルエンザの流行などもあってやむなく中止としました。しかしながら、実際の旅行に行くまでの準備を含めた教室を試みとして開催し、今後の「旅リハ」充実に向けたプログラムの整備を図りました。

また、更なる利用者サービスの向上を検討するため、6月～7月にかけて、利用時間拡大に関するニーズ調査を実施しました。調査は聴き取りによるアンケートで、対象者はスポーツ施設の利用者及び介護者の計 150 人とし、「朝の開館時間の繰り上げ」「夜の閉館時間の繰り下げ」「日曜・祝日の閉館時間の繰り下げ」について調査した結果、「日曜・祝日の閉館時間の繰り下げ」に関するニーズが比較的高いことが分かりました（特に日曜日のプール団体利用）。

これを受け、日曜日のプール団体利用に限った利用時間延長（2 時間程度）の試行的な実施を平成 22 年度に実施する予定です。

3 文化振興事業

「観る・聴く・楽しむ」ための場や、障害者の個々のニーズにあった創作への動機付けを図るための多様な文化的体験・能力開発の場を提供するほか、障害者の生活や文化に関する各種情報を提供することによって、障害者の社会活動・文化活動を支援しました。

(1) 文化企画

障害者の文化活動発表の場である「横浜ラポール芸術市場」や、ラポールシアターでのコンサート等のほか、気軽に参加できる「ラポールファクトリー」を開催しました。

また、様々な文化教室・ワークショップのほか、陶芸作品の窯焼きを毎月実施しました。

ア 文化振興事業

障害者の文化活動発表の場である「横浜ラポール芸術市場」の開催にあたっては、作品・出演者を広く公募し、日頃の活動が発表できる場としました。

「横浜ラポール芸術市場」

プログラム	内 容	回数	参加者数
ラポール美術展	絵画、写真、書、陶芸など約 430 点の力強い作品の展示会 同時に「さをり織り」や陶芸などのワークショップを体験コーナーとして「あなたも芸術家!？」を併催（10月19日～25日）	1回	2,060人
<small>いのち</small> 生命のリズム	障害のある方が参加している太鼓のグループの合同発表会（10月24日）	1回	221人
みんな de パソコン	障害者のパソコン利用支援グループ「ドリームナビゲーター横浜」による、パソコンを使っての缶バッジ作りや点字名刺作成（10月31日）	1回	91人
ハッピー コーラス 2009	ラポールの教室や、ワークショップから自主サークルとして活動しているグループによるコーラス発表会（11月7日）	1回	126人
オータム コンサート	ラポールのワークショップから自主サークルで活動しているグループのコーラスや、地域の障害者団体による器楽合奏の発表会（11月8日）	1回	262人
野 点	ラポールを利用しているグループ「お茶の会」による抹茶のサービス（11月15日）	1回	100人
ドリーマーズ ステージ	障害のある方が参加しているダンスのグループの合同発表会（11月28日）	1回	155人

ハートフル コンサート	障害者によるピアノ演奏や器楽合奏等の合 同発表会 (12月19日)	1回	138人
合 計 (前年度)		3,153人 (3,521人)	

イ 交流事業

障害の有無に関わらず、多くの人々が共に楽しめるイベントを、様々な団体と共同企画し、幅広い文化領域にわたって開催しました。

また、1階ロビーで月1回程度開催しているラポールファクトリーを実施しました。

(7) 自主・共催企画事業

プログラム	内 容	回数	参加者数
福祉レクリエーションフォーラム in 横浜ラポール	全国福祉レクリエーション・ネットワーク、日本レクリエーション協会と共催による、障害者の文化活動を支える方々を養成するフォーラムを開催 (5月16日、17日)	1回	116人
竹田英雄トーク & ライブ 「難病だってあきらめない」	「くまふう」という名でも知られる車椅子のミュージシャンによるトーク & ライブ (5月13日)	1回	94人
横浜交流音楽祭	アマチュアとプロ、さらに障害者の演奏家による市民手作りの音楽交流フェスティバル (5月30日)	1回	367人
ラポールの祭典 「モバイルプラネタリウム」 上映会	ラポールの祭典内で、簡易型プラネタリウムの投影 (9月6日)	1回	198人
字幕付き映画上映会「WALL・E」	聴覚障害の方にも楽しんでいただけるよう、字幕サークルが日本語字幕を付けた映画会 (9月27日)	1回	197人
ママさんコーラスワークショップ発表会	春から半年間実施したパパさんママさんコーラスワークショップの発表会 (11月3日)	1回	103人
「障害者週間」 国際親善交流 特別演奏会	日本音楽文化交流協会と共催し、障害者を無料招待したクラシックコンサート (11月21日の昼/夜)	2回	484人
ゲームで遊ぼう	神奈川県アミューズメント施設業者協会の協力によるゲーム機の無料開放 (11月23日)	1回	574人
字幕付き映画上映会「おくりびと」	企業とタイアップし、日本語字幕の付いた作品の上映会 (1月16日)	1回	133人

ラポールワンコイ ンシアター 「はこ/BOXES」	首都圏で活躍するろう者と健聴者が共同で作っている劇団「デフ・パペットシアター・ひとみ」による人形劇を低額な価格で提供 (2月7日)	1回	114人
字幕付き映画上映 会&撮影会 「超ウルトラ 8兄弟」	聴覚障害の方にも楽しんでいただけるよう、字幕サークルが日本語字幕を付けた映画会と、企業より全面協力を受けた、ウルトラヒーローの撮影会	1回	291人
合 計 (前年度)		2,671 人 (2,240 人)	

(イ) ラポールファクトリー

1階ロビーを使って、毎月1回、第2土曜日の昼休みに音楽会などを開催しました
(4月、8月、9月、1月を除く)

プログラム	回数	参加者数
開港150周年を記念して・・・横浜を語る<手話通訳付き>	8回	43人
ロビーマジックショー		62人
ギター弾き語り		48人
歌うやまんば		68人
みんなで楽しもう！マジックと腹話術		51人
みんなで聴こう！クリスマスコンサート		70人
ようこそ紙芝居の世界へ！『日本と中国の民話』 <手話通訳付き>		55人
大正琴の音色を楽しもう！		61人

ウ 自己啓発事業

障害者の創作活動や余暇活動を支援するために、対象者やテーマ別に各種の教室・体験会を開催しました。また、陶芸等のボランティア研修を実施しました。

(7) 教室等

プログラム	内 容	回数	参加者数
失語症の方のための 情報交換会	リハセンターの言語聴覚士と連携した、ST訓練を経た失語症者に対し、テーマに沿った内容の座談会を支援するプログラム	12回	57人
初夏のお楽しみクッキング	生活体験を広げる場として、簡単で健康的なメニューに取り組んだ料理教室	3回	30人
ひとりひとりにできる ごはん	新・料理塾「食のいろは」の協力を得て実施した障害児とその家族の支援プログラム	3回	30人

バリアフリー料理教室	食生活に興味を持ち、生活体験を広げる場として、簡単で健康的なメニューに取り組んだ料理教室	4回	49人
バリアフリークッキング in フォーラム	「男女共同参画センター横浜南」との共催で、主に男性が料理をする料理教室	3回	36人
サンデークッキング	障害のある20代、30代成人を対象に、余暇活動の一環として、家庭でも簡単にできるメニューに取り組んだ料理教室	3回	35人
アートサロン	片麻痺等の中途障害者を対象に、毎回季節感のあるテーマを設定、水彩画を中心とした教室	9回	143人
ものづくり広場	10～20歳代の知的障害者を対象にした、水彩画や工作教室	9回	100人
表現ワークショップ	和太鼓で遊ぶワークショップや、重度の身体障害者が対象の絵を中心としたアトリエ教室	8回	42人
コーラス・ワークショップ	障害のあるお子さんとその親たちのためのコーラス教室	5回	49人
夏休み親と子の工作教室	神奈川県土建一般労働組合横浜支部の協力による、親子で楽しめる木工やタイル細工教室	1回	56人
陶芸1日体験教室	片麻痺、聴覚障害、障害児等年齢や障害の特性に配慮した陶芸体験会	11回	150人
合 計 (前年度)		777人 (677人)	

(イ) 研修

プログラム	内 容	回数	参加者数
陶芸ボランティア研修	陶芸ボランティアのための釉かけの研修会	2回	26人
合 計 (前年度)		26人 (27人)	

(ロ) 陶芸窯焼成

プログラム	内 容	回数	参加者数
陶芸窯焼成個人	陶芸の個人利用者を対象に、有料による素焼きと本焼き	7回	352人
陶芸窯焼成大物	障害者を対象に、20 cm以上の大物作品の焼成	4回	6人
合 計 (前年度)		358人・0団体 (367人・0団体)	

(2) おもちゃ図書館事業

おもちゃ図書館事業では、多様なおもちゃ遊びができる場の提供や障害児及び障害児関連団体等を対象にしたおもちゃ等の貸出を行いました。今年度のおもちゃ図書館利用者数は8,978人（前年度8,740人）でした。

また、主に春休み・夏休み期間のおもちゃ展や開港150周年記念事業など楽しく参加できる行事を実施し、延べ2,714人（前年度3,429人）が参加しました。

さらに、館外での事業として「出張おもちゃ図書館」等を実施し、地域活動を支援しました。

ア おもちゃ・紙芝居・書籍類の貸出

内 訳	貸出数	(前年度)
個人（障害児・保護者等）	2,987 点	(2,835 点)
	1,383 人	(1,250 人)
団体（療育機関・訓練会等）	2,269 点	(2,429 点)
	407 団体	(372 団体)

イ 交流会の実施

プログラム	内 容	回数	参加者数
おもちゃ図書館ボランティア・スタッフ交流会	地域のおもちゃ図書館の関係者による情報交換や課題についての話し合い (3月28日)	1回	13人

ウ 行事・イベント等の実施

プログラム	内 容	回数	参加者数
おもちゃ病院	個人や団体・ラポールの壊れたおもちゃ計235点をボランティアが修理	12回	個人151人 団体26件
みんなのお楽しみ会	第2土曜日に実施している、お誕生月の児童のお祝いのための手遊びやマジック	9回	238人
わくわくボックス	「夏祭りで遊ぼう」「クリスマス」などをテーマに、ボランティアが中心になって開催する遊びの会(7月4日、12月12日)	2回	105人
150周年おもちゃ展「木のおもちゃランドで遊ぼう!Ⅱ」	木のおもちゃの良さ、物づくりや環境の大切さを広く知ってもらうため、特別支援学校や福祉作業所などの作品の展示会 (7月29日～8月2日)	1回	1,058人
帰ってきたさいころロボット	木のロボット工作教室(7月29日)	1回	17人
おもちゃドクターとおもちゃをつくらう	昇り人形を作る工作教室(7月30日)	1回	27人

簡単動物工作	木のガラガラやロープウェイおもちゃの 工作教室 (7月31日・8月1日)	2回	64人
道志村の間伐材で コースターをつく ろう	森林保護ボランティアグループによる工 作教室(8月1日)	1回	54人
四季の工作	木の実などの身近な自然素材を利用した 工作教室 (11月22日)	1回	36人
キラリ、リラック ス、光のおもちゃ 展&横浜マイスタ ーのステンドグラ ス展	春休みに重い障害の子にも楽しんでもら うため、光をテーマにしたおもちゃやき り絵行燈の展示と遊びのスペース (3月24日~28日) ステンドグラス作家の作品の展示 (3月20日~29日)	1回	457人
横浜マイスターの 「ガラス切りコラ ージュ」体験教室	ステンドグラス作家による、接着剤でガ ラスを貼るオリジナル作品づくりの教室 (3月27日~28日)	3回	40人
ラポールの祭典 「おもちゃの広 場」	神奈川県内のおもちゃ図書館ボランティ アによる遊びや工作教室(9月6日)	1回	600人
合 計 (前年度)		2,837人 (3,381人)	

(3) 情報ネットワーク

パソコン等の情報端末を通して、社会参加のための情報収集・提供やコミュニケーションの支援を行いました。また、情報バリアフリーを進めるための講座等を行いました。

ア ラポールホームページ運営

(ア) ホームページの運営

ラポールのイベント情報等を中心とした、ホームページのコンテンツ制作及び運営を行いました。また、ラポール内の全施設の予約状況及び広報誌(ラポラポ)が閲覧できるページについては、月2回の更新を実施しました。

ホームページアドレス <http://www.yokohama-rf.jp/shisetsu/rapport/>

(イ) 運営状況

年間総アクセス数： 987,725件(前年度：902,093件)

イ 情報バリアフリー支援講座等

プログラム	内 容	回数	参加者数
パソコン相談会	パソコンボランティアの協力を得て、初心者 を対象とした、パソコンの購入・使用方法等 に関する相談会	4回	272人

パソコン体験コーナー	初心者を対象とした、インターネットの利用体験会	3回	10人
夏休みパソコンであそぼ	中高校生を対象とした、パソコンを使った T シャツやマグネットシール作りなどの講習会	2回	12人
ジャーナリスト・ワークショップ	企業との共催で障害者スポーツなどのメディア発信に対する養成講習会	1回	16人
合 計 (前年度)		320人 (351人)	

(4) 地域支援

地域における障害児・者の文化活動を推進するために、市内の施設等と共催事業等を実施しました。

プログラム	内 容	回数	参加者数
バリアフリークッキング in フォーラム 〈再掲〉	「男女共同参画センター横浜南」との共催で、主に男性が料理をする料理教室	3回	36人
あおばおもちゃの広場	青葉区社会福祉協議会との共催で、地域の障害児と健常児の交流を目的に実施しているおもちゃの貸出や情報提供	67回	2,311人
移動おもちゃ図書館・出張展示	ヨコハマヒューマン&テクノランド2009に協力し、ラポールのおもちゃや地域のおもちゃ図書館の活動を紹介	1回	—
出張パソコン相談会	ヨコハマヒューマン&テクノランド2009内において、パソコン相談会やパソコンに関する福祉機器の展示、缶バッチ作りを実施	1回	128人
合 計 (前年度)		2,475人 (2,345人)	

4 開港 150 周年記念障害者スポーツ文化事業

開港 150 周年記念障害者スポーツ文化事業として、様々な事業を企画・運営しました。この事業では、一過性のイベントで終わることなく、障害者のスポーツ・文化活動の継続的な発展に寄与することをコンセプトの 1 つとしており、いくつかの事業においては次年度以降も引き続きプログラムを展開します。

(1) 開港 150 周年記念障害者スポーツ文化事業の実施状況

プログラム	内 容	回数	参加者数
ヨット事業	ベイサイドマリーナにおけるアクセスディンギー乗艇体験会や世界大会への参加	12 回	245 人
ウォーキング事業	ヨッテクと連動して、パシフィコ横浜と山下公園の間を歩くウォーキングイベント (7 月 25 日)	1 回	46 人
知的障害者サッカー	日産スタジアムで行われた J リーグの前座として、横浜 F・マリノスフトゥーロが前後半 15 分の試合を実施 (9 月 6 日)	1 回	37 人
ダンス事業	ラポールシアター及びメインアリーナを利用した、アダプテッドエアロのダンスイベント (10 月 4 日)	1 回	900 人
グラウンドゴルフ事業	みなとみらいスポーツパークにおいて実施したグラウンドゴルフ大会 (11 月 7 日)	1 回	96 人
車椅子バスケットボール事業	肢体不自由児を対象とした車椅子バスケットボール体験教室の開催と、第 9 回 High8 車椅子バスケットボール大会への参加 (エキシビジョンゲーム)	11 回	197 人
字幕付き演劇鑑賞会 劇団河童座 「からくり儀右衛門」	横浜・横須賀で活動中の老舗劇団に、開港 150 周年をもとに台本を制作してもらい、その演劇に字幕を付けて公演 (4 月 26 日)	1 回	131 人
新垣勉 おしゃべりコンサート	日本全国で活躍中の全盲テノール歌手のコンサート (7 月 4 日)	1 回	299 人
友野龍士 わくわく和太鼓コンサート	知的障害がありながらも可能性に挑み続ける和太鼓奏者のソロ&セッションライブ (7 月 11 日)	2 回	524 人
バリアフリーミュージカルソングコンサート ワークショップ	コンサートの中で体験コーナーを実施するためのワークショップ (7 月 12 日、26 日)	2 回	46 人

バリアフリーミュージカルソングコンサート	生伴奏によるミュージカルの名曲を歌うコンサート（8月9日）	1回	282人
「横濱いろはかるた」	障害者を含む市民から読札を公募し、プロのきり絵画家が絵札を制作 ¹⁾	—	—
合 計（前年度）		2,934人（2,345人）	

(2) 「きり絵の展示会」の実施

障害のある方たちがこの「横濱いろはかるた」の原画(きり絵)をとおして様々な人と「集い・つくり・つながる」ための「きり絵の展示会」を市内8か所で開催しました。

日 程	会 場
7月19日(日)～21日(火)	横浜そごう9階「市民フロア」センタープラザ/シビルプラザ
7月24日(金)・25日(土)	パシフィコ横浜 展示ホールB
8月13日(木)～17日(月)	よこはま動物園ズーラシア
9月15日(火)～20日(日)	横浜赤レンガ倉庫1号館
9月25日(金)～29日(火)	緑のギャラリー
11月7日(土)	横浜市立荏子田小学校
11月18日(水)～23日(月)	横浜ラポール
11月30日(月)～12月3日(木)	泉区役所

5 聴覚障害者情報提供事業

聴覚障害者の社会参加を推進するため、手話・筆記通訳者の派遣、生活相談、社会参加情報等の提供を行いました。また、聴覚障害者団体等の活動を支援するため、視聴覚機器の貸出等を行いました。

今年度は、特に派遣窓口時間外救急時の手話通訳派遣システムについて関係機関・団体と協議を行いました。また、5月にスタートした裁判員制度への手話・筆記通訳者対応についても裁判所等と協議を行いました。

(1) 手話・筆記通訳者派遣

聴覚障害者等が社会生活上必要とする場合に、手話通訳者及び筆記通訳者を派遣しました。研修については聴覚障害者団体と連携して実施しました。また、神奈川県、川崎市と広域派遣について連携しました。

ア 派遣事業

内 容	派遣・紹介人数 (前年度)	
手話通訳者	6,410人	(6,223人)
筆記通訳者	1,447人	(1,329人)
合 計	7,857人	(7,552人)

イ 手話通訳者研修会等の実施状況

内 容	回数	延べ参加人数
1年次研修	6回	65人
2年次研修	3回	21人
3年次研修	3回	47人
コース別研修 聞きとり	5回	242人
〃 読みとり	5回	291人
〃 対人援助	5回	193人
全体研修	3回	195人
合 計 (前年度)	30回 (28回)	1,054人 (1,097人)

(2) 聴覚障害者相談

聴覚障害者等の生活上の諸問題に対して、個々の実情に即し適切な対応を図るため、聴覚障害者相談を実施しました。また、必要に応じて出張相談も実施しました。

- ・相談件数 435 件（前年度 425 件）
- ・相談回数 937 回（前年度 849 回）

(3) 映像・字幕等の製作及び貸出

聴覚障害者用に字幕・手話を挿入したビデオ及び手話通訳者用教材ビデオの自主制作を行いました。また、聴覚障害者を対象に字幕・手話入りのビデオ等の貸出を行いました。

ア 字幕入りビデオ等の制作

内 容	本 数
企画文化事業の字幕制作	3
(財)横浜市青少年育成協会協力	1
手話通訳者用教材ビデオ等	41
合 計 (前年度)	45 (22)

イ 字幕入りビデオ等の貸出

- ・貸出件数 161 件（前年度 105 件）

(4) 視聴覚機器の貸出

聴覚障害者団体等に視聴覚機器の貸出を行いました。

内 訳	在庫数	貸出件数
Ｏ Ｈ Ｐ	4	58
ス ク リ ー ン	7	98
磁 気 ル ー プ	1	57
液晶プロジェクター	2	124
テープレコーダー	3	60
ビ デ オ カ メ ラ	2	35
Ｏ Ｈ Ｃ	1	11
VHS ビデオデッキ	1	11
パソコン文字通訳用機器	2	173
パソコン文字通訳用機器個人用	2	73
合 計 (前年度)		700 (698)

(5) その他

ア 聴覚障害者団体等との協議

聴覚障害者団体、通訳者団体、関係機関と手話通訳者派遣事業・相談や聴覚障害者福祉制度等に関する意見交換を行いました。

・年間実施数 29回

イ 機関紙「ウェーブ」の発行

関係機関・団体及び通訳者に対して聴覚障害者の各種情報を紹介するために機関紙を発行しました。

・発行日：偶数月の15日

・部数：600部/回（A4判4頁）

6 広報事業

ラポールの利用を促進し、障害者の社会参加及び障害者とその他の市民相互の交流を図るため、次のとおり実施しました。

(1) ラポール広報誌・催し物案内の発行

月間催し物案内「ラポラポ」を発行し、市・区役所、障害児・者施設をはじめ、関係機関約500か所で配布しました。

(2) 事業概要（年報）の発行

(3) 視察・見学者への施設案内

件数：39件（前年度46件） 人数：788人（前年度658人）

(4) インターネットによる広報

ラポールのホームページを開設し、広く施設情報を紹介しました。（再掲）

7 その他

職員に対する各種研修・訓練等の実施により、施設の円滑な運営や安全管理を進めるとともに、職員の業務に対する意識の向上に努めました。

(1) 利用者満足度調査

施設運営上の課題等を把握し、利用者へのサービス向上を図るため、利用者満足度調査を前年度に引き続き実施しました。

ア 実施方法 アンケート方式（無記名）

イ 実施期間 平成22年2月18日～3月14日

ウ 回収数 248通

エ 結果

(ア) ラポール職員の対応について

満足 75.0%、ふつう 18.5%、不満 3.2%

(イ) ラポール内の清掃について

満足 77.4%、ふつう 16.1%、不満 3.4%

(ロ) ラポール内の空調について

満足 59.7%、ふつう 27.4%、不満 9.3%

(ハ) ラポール主催のスポーツ事業に参加したことがありますか

はい 35.5%、いいえ 54.8%

(ニ) 「はい」の場合、いかがでしたか

満足 75.0%、ふつう 17.0%、不満 4.4%

(ヒ) ラポール主催の文化事業に参加したことがありますか

はい 31.9%、いいえ 57.3%

(ヘ) 「はい」の場合、いかがでしたか

満足 78.2%、ふつう 15.2%、不満 3.0%

※ (ア)～(ヘ)において、無回答は含んでいません。

(2) 職員研修

職員を対象に各種研修を実施しました。

研修名	回数	参加者数
個人情報取扱い研修	5回	70人
救急救命研修会 (7月21日午前・午後)	2回	51人
人権啓発研修 (11月11日、12月9日)	2回	73人
クレーム対応研修(12月28日)	1回	53人
セクシャルハラスメント研修 (3月3日、3月4日)	2回	45人

通報訓練	16回	89人
救助訓練	13回	77人

(3) 防災対策

ア 自衛消防組織の編成及び任務

自衛消防隊長 副隊長 (館長) — (副館長)	—	通報連絡班長：消防機関への連絡、館内放送 (管理・文化事業課長)
		初期消火班長：消火器・屋内消火栓による初期消火活動 (スポーツ事業課長：振興担当)
		避難誘導①班長：館内利用者の避難誘導 (スポーツ事業課長：指導担当)
		避難誘導②班長：館内利用者の避難誘導 (スポーツ事業課長：人材担当)
		避難誘導③班長：館内利用者の避難誘導 (聴覚障害支援課長)

イ 消防訓練の実施状況

実施日	内容
平成21年5月29日	ラポールの火災発生を想定したリハセンター・横浜市総合保健医療センター・ラポール合同の消防訓練
平成21年11月27日	横浜市総合保健医療センターの地震・火災発生を想定したリハセンター・横浜市総合保健医療センター・ラポール合同の防災訓練

(4) 運営委員会の開催

ラポールの運営に障害者等利用者の意見を反映するため、関係者で構成する運営委員会を開催しました。

開催状況 年2回(10月28日、3月30日)

(5) 施設の利用状況

ラポールでは、障害者を優先的に施設の貸出を行いました。

ア 利用区分による利用状況

	利用者数	前年度
個人利用数	182,853人 (100.0%)	179,279人
障害者	130,185人 (71.2%)	127,140人
介護人等	32,966人 (18.0%)	31,799人
一般	19,702人 (10.8%)	20,340人
団体利用数	239,313人 (7,840団体) (100.0%)	261,320人 (7,128団体)
障害者	84,509人 (35.3%)	89,514人
介護人等	38,172人 (16.0%)	37,740人
一般	116,632人 (48.7%)	134,066人
利用者数 合計	422,166人(1日平均1223.7人)	440,599人

イ 障害別による利用状況（個人利用の内訳）

内 訳	利用者数	前年度
肢体不自由	85,739人 (65.9%)	84,677人
知的障害	23,151人 (17.8%)	22,665人
精神障害	5,950人 (4.6%)	5,360人
視覚障害	3,727人 (2.9%)	4,030人
内部機能障害	4,586人 (3.5%)	3,727人
重複障害	4,019人 (3.1%)	3,688人
聴覚障害	3,013人 (2.2%)	2,993人
合 計	130,185人 (100.0%)	127,140人

ウ 施設別区分による利用状況

		利 用 者 数	前 年 度
ス ポ ー ツ 施 設		261,431 人 (100.0%)	254,319 人
	プール	77,721 人 (29.7%)	73,614 人
	メインアリーナ	56,072 人 (21.4%)	58,450 人
	フィットネスルーム	60,238 人 (23.0%)	57,954 人
	サブアリーナ	28,083 人 (10.7%)	26,780 人
	屋外グラウンド	13,131 人 (5.0%)	13,768 人
	ボウリングルーム	10,873 人 (4.2%)	11,380 人
	地下グラウンド	10,633 人 (4.0%)	7,809 人
	テニスコート	4,680 人 (2.0%)	4,564 人
文 化 施 設		160,870 人 (100.0%)	186,304 人
	ラポールシアター	43,589 人 (27.0%)	48,551 人
	大会議室	28,380 人 (17.7%)	38,035 人
	ラポールボックス	28,506 人 (17.7%)	33,283 人
	ラポール座	18,445 人 (11.5%)	20,129 人
	和室	15,727 人 (9.8%)	18,152 人
	創作工房	9,470 人 (5.9%)	10,029 人
	小会議室	7,479 人 (4.6%)	9,256 人
	おもちゃ図書館	8,978 人 (5.6%)	8,740 人
	聴覚障害者情報提供施設 ¹⁾	161 人 (0.1%)	105 人
	応接室	135 人 (0.1%)	24 人

1) 聴覚障害者用字幕付きビデオ貸し出し人数